

ESSO Formula-TOYOTA series2007

第3戦 in ツインリンクもてぎ



東 徹次郎

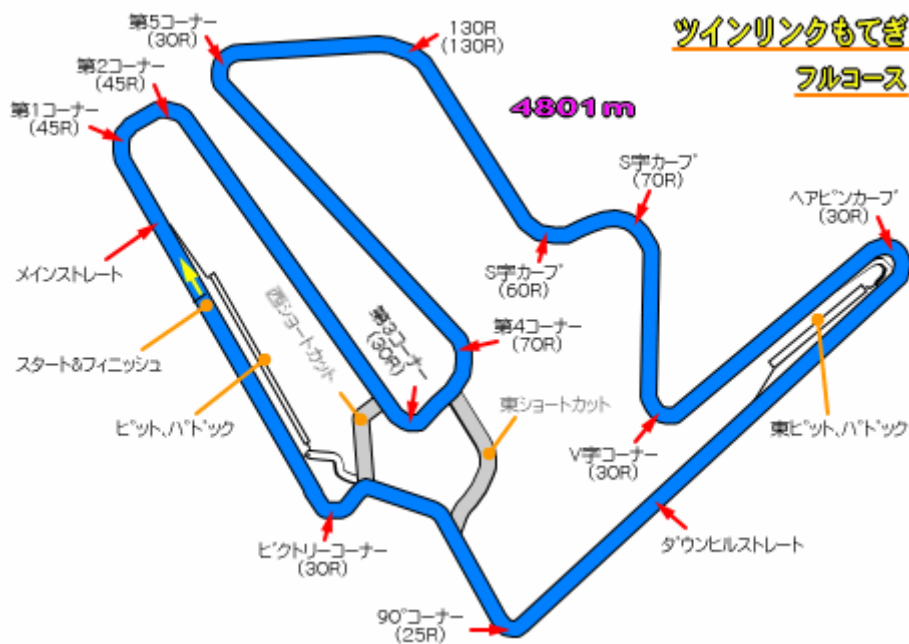
Tohjiro Azuma

悪い流れを変えられず下位に沈む・・・

後半戦での巻き返しを誓う！！

ESSO・Formula-TOYOTA シリーズ 2007

- 開催日：2007年7月1日
- 場所：ツインリンクもてぎ（4.801 km）
- 天候：晴れ
- マシン名：ノームフェスト・ルボーセ FT
- Car No.： 62
- チーム：Le Beausset motorsports



公式予選 (2007/7/1/8:50~)

出走台数：15台 天候：晴れ コース：ドライ

予選・決勝と当日に行われる今年初の1dayレースとなった第3戦。前日までのどんより雲が取れて太陽の光が見え始めたと同時にフォーミュラトヨタ予選が始まった。

前日の練習ではトラブルが続きほとんど走れていなかったもので、この予選が今回初めてのNEWタイヤでの走行であった。コースインしての1周はタイヤへ急激に熱を入れないよう、マシンの挙動の確認から始めた。

そして4周目、タイヤのグリップが最も良いと思ったのでアタックに。マシンの挙動はターンインするときに少しアンダーステア気味だったので、ブレーキでしっかり向きを変えられるよう意識して走った。

しかし、それでも90度コーナーで自分のイメージしていたラインをやや外してしまった。このラップでのタイムは総合4番手、ポンとタイムが出たのでこのままタイムアップ出来ると思っていたが、予想以上にオーバーステアが強くなった。

これは初期がアンダーステアな為にステアリングの舵角が大きくなってしまい、ターンイン後のコーナー出口でオーバーステアに変わる症状である。その為にリアタイヤに負担がかかってしまい、早くに熱ダレしてしまったと思われる。

この後一回クーリングラップを入れてアタックしたのですが、ミスもあって結局タイムアップ出来ず終わってみれば痛恨の10番手と下位に沈んでしまった。

予選結果：10位

タイム： 1 56.992

決勝(2007/7/1/12:56~)

出走台数：15台 天候：晴れ コース：ドライ

決勝は金曜からの三日間を通して一番の暑さになった。予選からマシンのセットを変更し、序盤でどこまで上がれるかが重要だと考えていた。

フォーメーションラップ、暑さの為にすぐにタイヤは発熱しそうだったのでリアタイヤよりもフロントタイヤに熱を入れることに努め、あとはブレーキバランスの確認をしていた。

スタートはいつもよりも半クラを長く使うようにした。その為、前回のような回転が落ちてストールしそうになるというのは平気だったが、ホイールスピンを起こして加速が鈍ってしまう。

2台に交わされ、1コーナーを通過。そして次の3コーナー進入のブレーキングですぐインに飛び込み11位へ。そしてS字コーナーが終わってV字コーナーでの進入でまたインへ。これでとりあえず10番手復帰。

しかし、V字コーナーを並走して立ち上がりアウトから被せる形でヘアピンに進入したので、通常よりワンテンポアクセルONが遅れてしまう。これが響きバックストレートでスリップストリームに入られ、90度コーナーで抜かれてしまう。でもペースは自分の方が良かったので、相手のミスについてすぐに10位に復帰。

この後すぐ9番手の3号車に追いつき、90度コーナーのブレーキが自分の方が飛び込めていたので、ここで抜こうと合わせていく。しかしヘアピンで合わせて立ち上がってきてもギアレシオが違うのかシフトアップごとに離され、スリップストリームに入れない。それどころか若干離されてしまう。

何回かブレーキングでインに顔を覗かせるも強引に行けば当たってしまうくらいの距離感の為、ペースは自分の方が良くても完全に引っかかってしまう形となってしまった。

水温を下げるために何回か前との距離をとり、抜きに行こうと決めたラップは追いついていくも、最後まで抜くことが出来ずレースを終えてしまう。

決勝結果：9位(1号車在使用部品違反で失格の為)

ベストタイム：1 58 . 788

今回の反省

予選はアンダーオーバーな特性のマシンをフロントで向きを変えようとフロントだけに意識し過ぎたのがいけなかったと思います。だから逆にリアが軽くなってしまい、アクセルONのときに荷重の抜けすぎたときなどリアがすぐ出してしまうという症状だったと思うので。

また、ロガーを見る限り進入速度が落ちてしまっていたのも事実です。もっとリアタイヤをうまく使って曲げていくことが課題です。

決勝は本当にスタートの一言です。最低でもポジションキープしなければいけないのに、ダウンしてしまったら予選がいくら良い場合でも台無しになってしまいます。

あと今回はレース中の戦略です。スリップストリームに入れないまでも、相手のミスを誘発するような強いプレッシャーをかけることが出来ていれば、前に出ることが出来たと思います。

次回に向け、自分のマシンコントロールの幅をもっと高いレベルに持っていくことが大きな課題です。

今後の日程

第4戦	10月6日	仙台ハイランドレースウェイ
第5戦	10月7日	仙台ハイランドレースウェイ
第6戦	10月28日	スポーツランドSUGO
第7戦	11月25日	富士スピードウェイ



最後に

今回も遠方から、たくさんの方々に応援に来て頂き誠に有難うございます。2007年引き続き参戦出来ているのも、自分を支援して下さっているスポンサーの方々や家族、そして応援して下さっている全ての方々のお陰です。

また、当日メールやお電話での応援も本当に心の支えになりました。有難うございます。

今回ホームコースだったにもかかわらず皆様の期待に応えることが出来なかったこと、結果を残せなかったことは本当に悔しいです。しかし、悪い中でもレース中のタイヤのコントロールなどは前回よりも成長出来ていると感じています。

前半戦が終わりしばしのインターバルの後、秋から後半戦です。今までの悪い流れを断ち切り、学んだことを活かして全力で頑張ります。そして絶対に這い上がっていきます。

今まで以上に大きく成長出来るようもっともっと努力していきますので、これからもご支援ご声援のほど宜しくお願い致します。

2007年7月1日
東 徹次郎